

ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 18

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

「ADESOC」報告 ウムチョムゥイーザ学園 2008.4.2 チャールズ校長より

ウムチョムゥイーザ学園の運営が出来るのは、多くの皆様のご協力のおかげです。ウムチョムゥイーザ学園のみんなを代表して心から感謝申し上げます。

皆様の支援がなければ今のウムチョムゥイーザ学園はなかったに違いありません。ルワンダ国民のため、特にウムチョムゥイーザ学園の子ども達の未来のためにもこの大切な仕事を続けていかなければなりません。私も含めて教職員の生活の基盤にもなっています。

2007年には18名の卒業生を初めて送り出すことが出来ました。さらに、中学校に入学するための国家試験を受け、18名全員がその国家試験に合格することが出来ました。子ども達の成績が評価され、ウムチョムゥイーザ学園は全国で20番という成績を残すことが出来ました。このような素晴らしいことは、一人の力で出来たことではありません。ルワンダにはこのようなことわざがあります。

「ひとりの力は小さいけれど、みんなが力を合わせれば大きな力になる。」



今の夢は中学校さらには高校をつくることです。18名の卒業生は学園に中学校がないために、国から指定された各地の中学校に送り出しました。家から通えず寮に入るためにお金を援助した生徒もいます。

中学校・高校をつくることは簡単ではありません。なぜなら、ルワンダの国も落ち着きを取り戻し、子ども達を受け入れる前に少なくとも12教室2階建てを完成

させてから受け入れなければならないという方針に変わったからです。

とても難しいことですが、願い続ければきっと夢は叶うと信じてがんばっていきましょうと思います。



2008.3 1学期の終業式

日本のみなさんとルワンダのみんなが力を合わせて健康で長生きしていけば必ず実現できると信じます。貧困をなくして平和の構築を定着させてゆきたいと思います。なぜなら、無知は貧困といつまでも続くアフリカの戦争とが発展しない重大な原因だからです。



これからも、子ども達の夢の実現のためにご協力をよろしくお願い致します。

2007年2学期の学費の納入状況の報告

単位：人

納入状況	保育学級			小学校										合計
	年少	年中	年長	1年A	1年B	2年A	2年B	3年A	3年B	4年A	4年B	5年	6年	
100%	18	16	32	17	13	21	17	15	16	15	13	19	8	220
75%	1	3	4	0	5	2	1	4	2	2	1	1	0	26
50%	0	0	1	0	1	1	0	1	3	1	1	2	0	11
25%	2	2	1	5	1	1	1	2	1	1	1	3	1	22
0%	1	3	5	4	2	4	10	3	7	4	4	10	9	66
その他	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
合計	22	24	44	28	22	29	30	25	30	23	20	35	18	350

子どもの数は増えているが、
学費を全額納入できる家庭が
減っている。

2007年3学期の学費の納入状況の報告

単位：人

納入状況	保育学級			小学校										合計
	年少	年中	年長	1年A	1年B	2年A	2年B	3年A	3年B	4年A	4年B	5年	6年	
100%	14	9	26	12	13	19	21	15	14	13	10	19	6	191
75%	1	4	6	1	2	2	1	1	3	0	0	0	0	21
50%	1	2	3	1	1	1	0	2	1	0	1	3	0	16
25%	1	2	2	4	0	1	0	1	1	2	1	2	1	18
0%	5	9	9	10	6	7	7	6	9	7	6	12	11	104
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	2	0	0	6
合計	22	26	46	28	22	30	30	25	30	23	20	36	18	356

日本円に換算（2007.10月平均 115円/ドル換算）すると

学校運営のための費用は、1人当たり年間授業料 15,972円×356人＝約 5,686,032円
が必要ですが、実際の年間総授業料納入額は約 4,050,875円にとどまっています。

運営費（教材費・教職員の給料等）と中学校の建設費等夢の実現のためには、学園自体の自立を促すと共に気の長い支援が必要となってきています。ご協力とご理解をお願いします。

貧しいひとりの受け入れた子どもがルワンダで夢を実現できる職業に就くまでには長い継続的な支援が必要になってきます。私達の子がアフリカに 356人いるとだけいただければ幸いです。

ウムチヨムイーザ学園小学校卒業生から日本の皆様へ



イベータィ 15歳

私はこのウムチヨムイーザで素晴らしい教育を受けました。校長先生をはじめ諸先生方のおかげだと思います。日本の皆さんの協力に感謝します。

お医者さんになりたいです。

ゼドリック 13歳

私は教えてくださった先生に感謝します。日本の支援を受けたおかげで素晴らしい教育を受けることが出来ました。

私は医者になりたいです。

ロゼリーネ 14歳

私はたくさんの知識を教わりました。良い文化、人の生き方も学びました。ここには書ききれないほど学びました。

先生になりたいです。

トゥマイーニ 15歳

私はお母さんとおじさんが勉強のことで助けてくれたこと、学校を助けてくれている日本人の方々に感謝します。

技術の先生になりたいです。

マルティーネ 13歳

私は、書いたり読んだりすることを教えてくれたこと、ピアノの弾き方を教えてくれたこと、いろんな事で手伝ってくれた人々に感謝します。

私は記者になりたいです。

エリック 12歳

日本から送ってくださったピアノ、バスとかいろいろな支援のおかげで他にない教育を受けることが出来ました。

僕は弁護士になりたいです。

エリック 12歳

たくさんの人達に支えられて素晴らしい教育を受けることが出来ました。ありがとうございました。

学校の先生になりたいです。

ジャッキー 13歳

私達に教育を受けさせてくださったように、他の子ども達にも受けられるように活動を続けてください。

アーティストになりたい！



ソーラープロジェクトだより

会員 武藤類子

皆様のご協力により、昨年10月にソーラー発電システムとソーラークッカーをウムチョ・ムウイーザ学園に設置することができました。たくさんのご支援ありがとうございました。現在、ソーラーパネルは屋根に取り付けられ、三部屋に明かりが灯り、ノートパソコンを起動させています。また、ソーラークッカーを使い、おいしい料理ができあがったという報告も届いています。これらのソーラーシステムが、ルワンダの人々の役に立つことを願っています。皆様、ほんとうにありがとうございました。今後もバッテリーの交換やシステムの広がりにも、どうぞ引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

プロジェクトの経過

2002年～ルワンダは内戦の混乱で、電気などの供給が不十分であった。首都キガリにある、本会が建設運営を支援しているウムチョ・ムウイーザ学園にソーラーシステムを贈り、「学校に必要な電力の自給」「生徒たちの教材」「親たちへの夜間の識字教室」に役立てたいと考え、プロジェクトを立ち上げ、募金を始める。

2007年～(有)エルガの桜井薫氏の紹介により、東京マイコープ様から手作りソーラーパネルの寄付を受け、プロジェクトが本格的に進められることになる。

- ・福島県国際交流協会より助成金を受ける。
- ・「ソーラーのらや」にデザイン・機材購入・システムの組み立てを依頼する。
- ・ソーラー発電システムの説明書を製作・英訳する。
- ・9月、「工房あまね」滝沢本春氏より、組み立て式ソーラークッカー「かるぴか」の寄付を受ける。クッカーの組立説明書を英訳する。
- ・10月、マリー・ルイズがソーラー発電システムの組み立てを練習する。完成したシステムをルワンダへ発送する。

マリー・ルイズがルワンダへ飛び、ソーラー発電システムの取り付けを指導する。現地スタッフがソーラークッカーを組み立てる。

- ・11月、現地スタッフにより、ソーラー発電システムの設置が完成する。
- ・12月12日、ルワンダより使用状況などの報告が届く。



現地スタッフによるソーラークッカーの組み立て



完成したソーラークッカーでお湯を沸かす

ルワンダデー・イン ふくしま



秋のコンサート
10月4日・5日開催予定
出演者：マウンテンマウス
詳しくは総会にて決定します。



総会の開催案内

期日： 5月18日(日)13:00～16:00
場所： 福島文化学園 ぶんぶんセンター
福島市宮町 3-19
024-522-3655

本会として、何ができるのか？NPOとして成長するために何をすべきか？話し合うことによって、元気がでてくる会にできたらと思います。多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。

☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込・寄付・募金

郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

ホームページ
からの募金も
受付中です

ソーラー発電…ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座：02200-2-77634

加入者名：ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。(イベント開催時の半日でもOKです。) よろしくお願ひします。

—編集後記—

2008年1月より、フレッシュな事務局スタッフを迎えることができました。JICAの支援をいただいて本会のさらなる発展のために必要な土台作りをしていただいております。学園も1月から新学期が始まりました。(・▽・)

ルワンダの教育を考える会



理事長 高橋 啓子

副理事長 カバ`ンガ`マリル`

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org